

本プロジェクトが求めているもの

日本デザインの新たな潮流を切り取る視座として、私たちは
“**共振** ~経験と物語のデザイン~” をテーマに掲げます。

『共振』とは、人とモノが、相互に反応し合う関係に置かれること。
あるモノに接したときに、その人のなかに“化学反応”が生じ、そこに
生まれた期待感やワクワク感が特別な視線となってモノに帰っていく。
その共感と愛着が両者の関係をいっそう親密にし、その相互関係のなか
でモノが再び人を刺激する。このような人とモノとの循環的な相互反応
のプロセスが、私たちの考える『共振』です。

たとえば、「新しい経験に誘ってくれるに違いない」「新しい可能性を
拓いてくれそうだ」「新しい自分を発見できそうな気がする」「いままで
になかった思い出をつくってくれるだろう」……といった感情が芽生え、
その結果、「いつも身近に置いておきたい」「コイツには金に変えられない
価値がある」「ずっと大切にしよう」と思ってくる。そんな関係です。
使い手の経験を拡張し、物語をつむいでくれるモノ。私たちを「新しい
経験」と「新しい物語」へと誘ってくれるモノ。

すなわち『経験と物語のデザイン』。

このプロジェクトが求めているのは、そんな資質に富んだモノたちです。

「感性価値」とは？

人とモノの間に“心理的なベルト”がかかることで発露する「感性価値」は、機能や価格に依存する従来の「商品価値」を超える新しいものづくりのヴィジョンであり、日本の競争力の新たな価値軸。

モノに込められた「物語」が使い手の感性に働きかけ、「経験」や「記憶」が呼び起こされることで、両者に心理的な応答関係が生まれ、それが「共感」や「愛着」につながっていく。

このプロセスが生み出す人とモノとの新しい関係性が、作り手と使い手のそれぞれに新しい価値をもたらす。

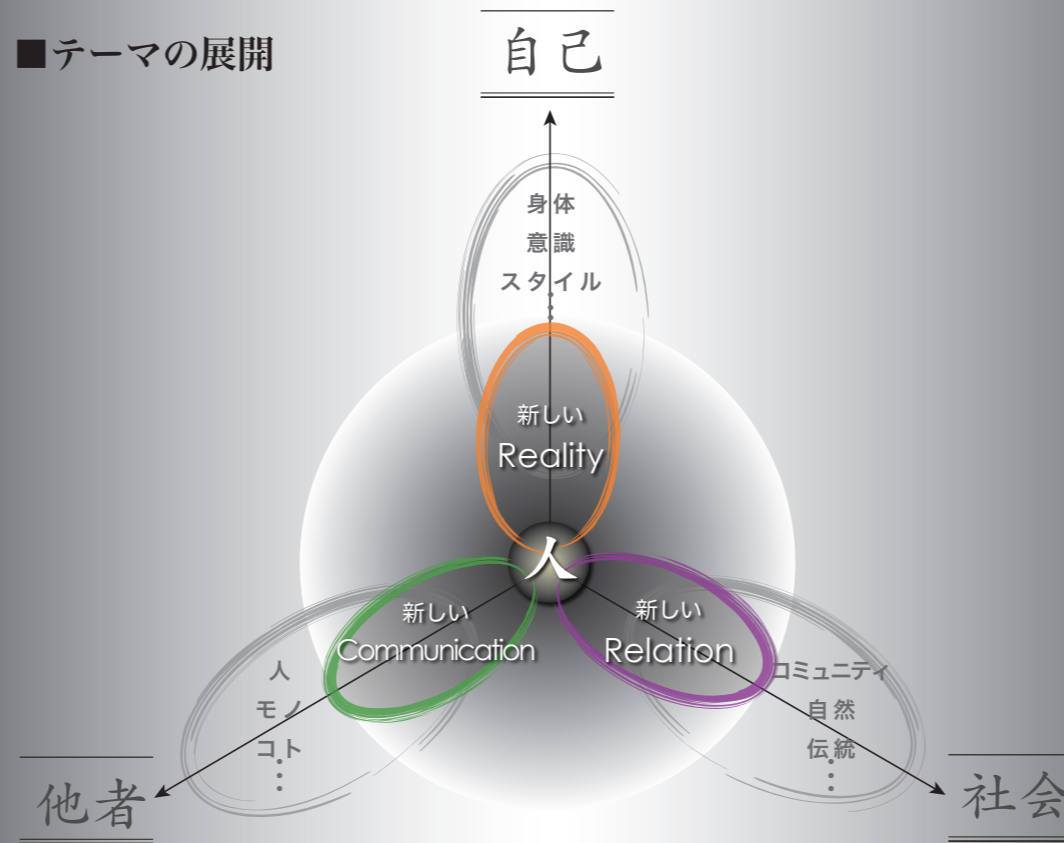
■展示テーマ

共振

Resonance

～経験と物語のデザイン～

■テーマの展開



私たちは、「人とモノとの共振」が発露する領域として、大きく次の三つを想定しています。

[1] 自己 ▶ 新しい Reality

自己の身体や意識、あるいは自らのアイデンティティやライフスタイルに働きかけてくれるモノ。すなわち、「自分らしさ」や「これからの自分」に“新しい Reality”を与えてくれるモノたちです。

[2] 他者 ▶ 新しい Communication

人やモノ・コトとの新しいつき合い方や繋がり方を提案してくれるモノ。すなわち、自分と他者との「ストレスフリー」で「豊かで個性的」な“新しい Communication”を媒介してくれるモノたちです。

[3] 社会 ▶ 新しい Relation

自己を取り巻く世間やコミュニティ、歴史や伝統、自然や環境との新しいつき合い方や繋がり方を育ててくれるモノ。すなわち、社会との“新しい Relation”を醸成してくれるモノたちです。

■応募要件

- ・日本国内に本店又は主たる事務所を有する法人もしくは日本国内に居住する個人
- ・本展の趣旨に賛同する者
- ・海外展開への意欲がある者

■応募方法

応募フォームを下記サイトよりダウンロードのうえ、2010年4月15日18:00までに下記アドレスに電子メールにてご提出ください(3MB以下)。

- ・応募フォームのダウンロード： 経済産業省製造産業局デザイン・人間生活システム政策室
http://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/mono/human-design/kanseikoubo.html
- ・応募書類の提出： humandesign@meti.go.jp 「感性価値創造フェア公募係」

※ 選考は非公開で行います。選考結果に関する個別のお問い合わせにはお答えできませんので、あらかじめご了承ください。なお、選考結果及び選考委員による全体講評については、同上サイトにて発表する予定です。

■募集対象

- ・日本国内の法人が自社で製造もしくは企画開発した製品、または日本国内に居住する個人が製造もしくは企画開発した製品。
- ・応募・選考段階で未発表の製品も可。ただし、2010年10月の金沢展までに公表が可能で、原則として金沢・香港の双方で現物展示ができるもの。
- ・プロトタイプも可。但し、一般ユーザーを対象とする製品化を前提に開発されたものであって、完成品としての機能・性能をすべて満たしているものに限る。
- ・ライセンスブランド、1点もののアート作品、一品生産の工芸品等は不可。

■選考委員

奥出直人： 慶應義塾大学大学院教授

隈 研吾： 建築家/東京大学大学院教授

舘 暲： 慶應義塾大学大学院教授/東京大学名誉教授

深澤直人： プロダクトデザイナー/武蔵野美術大学教授

平野暁臣： 空間メディアプロデューサー

■選定されると

- 感性価値創造フェア (金沢・香港) で製品が無料で展示されます。
- 本展公式サイトや「感性価値創造バンク」等のウェブサイト、来場者ガイドや公式記録等の配布物、プレスリリースなど、主催者の広報ツールに情報が掲載されます。
- 日本貿易振興機構が運営する「引き合い案件データベース (TTPP)」に登録することにより世界各国約6万人のユーザーに情報発信できます (希望者のみ)。
- 金沢展では、館内「シアター 21」会場にてプレゼンテーションの機会を設ける予定です (希望者のみ。詳細未定)。
- 香港展では、展示品提供者の商談を支援するため、関心企業とのアポイントの取り付けや商談スペースの提供を行う予定です。(希望者のみ、一部有償。詳細未定)。